



こころらぼ
こころのラボレーション

スクールサポーター
(臨床心理士)
小林 真理

「発達障害」について、少しでも知っていただくための「こころらぼ」心のラボレーション。この記事には、障がいの名前がいろいろ出てきますが、大切なのは「本人が何に困っているのか・困りやすいのか」を知り、「どうすれば本人が生活しやすくなるのか」「私たちに何ができるか」ということに触れていくことです。決して「何が悪いのか」ということを追究することではありません。レッテル貼りや差別化ではなく、正しい知識に触れることで、いざ「コラボレーション」ができるようになりますね。

【**広汎性発達障害**】
脳の機能がうまくはたらかない部分が、いくつかの広い領域にわたると考えられるため広汎性発達障害といわれています。それぞれについては、今後、詳しく紹介していきます。

ほんの一例ですが、たとえば洗濯機・川・水道・排水溝など水の流れなどをいつまでも飽きることなく見続ける、絵本の読み聞かせよりも図鑑や百科事典のような本を好んで何度も眺める(読む?)、話ことばの語尾があがる、のようなことが挙げられます。

幼児期は脳の機能が育つ時期でもあり、基本的な生活習慣が身に付き、思考力が発達し、社会的にも心理的にも集団生活の準備が整う時期です。この段階で発達障害に気づかず、小学校という集団生活に入ると、さまざまな問題に「つまづくこと」になります。家庭や周囲からの理解と適切なサポートが得られればライフステージのどの時点にあっても改善への道は見つかるとでしょう。そのためにも早期発見・早期介入が大切なんです。今回は「自閉症」についてふれていきます。

文献

「子どもの精神医学ハンドブック」
(株)日本評論社
「支えあおう 発達障害」
長野県精神保健福祉センター発行

広汎性発達障害

● 自閉症

- ①ことばのおくれとコミュニケーションの障がい
- ②対人関係・社会性の障がい
- ③パターン化した行動・強いこだわり

● 高機能自閉症

知的な遅れがない自閉症

● アスペルガー症候群

- ①コミュニケーションの障がい
- ②対人関係・社会性の障がい
- ③パターン化した行動・強いこだわり
- ④感覚が敏感
- ⑤手先の不器用さがあり運動が苦手

※自閉症、アスペルガー症候群以外にも、レット障害、小児期崩壊性障害、そのほか特定不能のものもあります。これらは大変稀なケースですので、この連載では割愛させていただきます。

講演会のご案内

学校・警察・PTA連合会講演会

とき 11月17日(木)
15時～16時30分

ところ 中央公民館 大講堂

※入場無料

内容

演題

「刑務所の中の中学校」

桐分校

「学びと感動が人を変える」

角谷 敏夫氏

講師

「刑務所の中の中学校」著者

元松本市旭町中学校桐分校

法務教官

【問い合わせ】

学校・警察 PTA事務局

(東部小学校 千野)

☎42-2684

早稲田大学交流事業講演会

とき 11月19日(土)
13時30分～15時

ところ 中央公民館 大講堂

※入場無料

内容

演題

「地域自主防災」の問題と課題

「地縁」づくりと

「災害文化」

講師

早稲田大学文学学術院教授

土屋 淳二氏

「地域防災への取り組み」をテーマに、地域防災力の強化に向けた「共助」のあり方と課題について、一緒に考えてみましょう。

【申込み・問い合わせ】

教育委員会 生涯学習係

☎45-8695